



樹妙だより

No.181 2020/4.5



慈 悲 喜 捨

私たちは、一年を通して季節と共に暮らしています。季節が移ろう中で目にする情景や季節感は、日本の風土によって生まれたものだと思います。先人たちは、寒暖の感覚だけでなく、桜の開花に春が来た喜びを感じ、花火や祭り囃子(ばやし)に心躍らせるなど、繊細な感覚によって季節の風情を大切に、四季折々の文化を育んできました。自然に親しみ、季節を愉(たの)しむ術(すべ)を知る日本人の季節感は、他国の人から称賛されています。

季節のめぐりは、暦(こよみ)を知ることでもわかるとされています。太陽の傾きが暑さ寒さに影響し、月の巡りが潮の満ち引きをもたらします。地球上の生物は太陽と月のもとで生き、変化に合わせて成長しているので、暦は日付だけでなく、生きるための指標でもあるのです。

2月初めの立春で、「暦の上では春ですが」と言われても実感がわきません。季節外れのような季語は、季節が太陽の動きに影響されていることに関係があると言われ、太陽の動きをもとに、毎年同じ時期に同じ節気がめぐり、一定

の間隔で、半月ごとの季節の変化に対応できる「二十四節気」が取り入れられているからです。そして、二十四節気は天候に左右される農業の目安となり、季節を知るよりどころとなっていたので、天候や生き物の様子を表す「啓蟄(けいちつ)」「穀雨(こくう)」「夏至(げし)」などの名前がつけられ、今でも年中の行事や時候の挨拶などで使われています。

春爛漫の心地よい季節の中、学校では新入生を迎えて令和2年度がスタートしました。これまで、新型コロナウイルス感染症対策によって、学習や運動などが制限され、現在も予断を許さない状況にあります。しかし、このような時だからこそ、今まで当たり前のように思っていたことが、実はそうではないということをあらためて理解することが大切です。遠慮無ければ近憂有りという言葉に示されるように、思いやりと感謝の心で、為すべき事に一所懸命に取り組んでいくことで、私たちは更に豊かになれるように思います。

新学期にあたり、一人ひとりが令和2年度をどのように過ごしていくのか考え、目標達成に向けて実践していきましょう。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

令和2年度を迎えました。在校生はそれぞれ進級いたします。最高学年の3年生は勝負の一年、充実した日々を過ごして欲しい。

そして新しい仲間を、迎えます。新しい年、新しい仲間、新しい学年、実に気分のいいものであります。

スタートは大切です。丁寧に丁寧に、新型コロナウイルスで落ち着きを欠いた世界ですが、目的に向かって邁進してまいりましょう。

10年前に私は『パンとペン』黒岩比佐子著を読みました。当時NHKBSのブックレビューという番組で紹介され、タイトルが面白そうなので購入しました。500ページ位あるので購入してから少し動揺したのを覚えています。

読み始めると大変な人たちが、苦勞して生き抜いていく話でありました。頭を使うのです。知識を使うのです。行動を起こすのです。仲間のために頑張るのです。いい話でした。

主人公は社会主義者の堺利彦(1871-1933)です。

明治43年大逆事件で絞首刑にされた親友の幸徳秋水(1871-1911)の死後、社会主義者にとって冬の時代を迎える事になります。

取り締まりが一段と厳しくなり、「社会」がつくだけで出版物は発禁、演説会は特高警察(特別高等警察の略称で、当時の天皇制政府に反対する思想や言論、行動を取り締まることを専門にした秘密警察のこと)が入り、中止解散命令が続出します。そして、多くの同志が無政府主義者名簿にリストアップされ常に尾行されます。もちろん仕事も見つからない状態が起こってまいります。

行き場のない社会主義者たちに生計を立てるための会社を作り、交流の場を用意し、若者を教育したのが、「日本社会主義の父」と呼ばれる主人公の堺利彦でありました。彼は、社会主義運動を密かに進めながら「賣文社」という会社を起こし、仲間の生活を支えるのです。

「賣文社」とはまた危険な香りがしますが、至ってシンプル、社名の通り、文章を作って売ります。

仕事内容は、依頼主の要望によって広告文、キャッチコピー、雑誌の記事、卒論や論文の代筆、仏英独語の翻訳、薬の効能書き、とに

かく何でも請け負って代価を頂くのです。実に知的な集団で怖い感じの社会主義者がどこにも現れない、このビジネス感覚はまさに現代的、そしてオシャレです。気づいているのか意図的なのか正に資本主義的でありました。

明治の終わり頃の話です、読んでいて感動します。素晴らしいですね。

現代では考えられないのですが、当時の文筆家にとって文章を売るという行為はプライドが許さないものだったそうです。

にもかかわらず東京朝日新聞などに広告を出してそれを行うのです。仲間を生かしていく必死さ、とらえられた人の家族を支えていかなければという使命感、素晴らしいです。

でもお洒落なのは「賣文社」にロゴマークを作るのです。そのマークが食パンに万年筆が交差(刺さっている)している絵であります。

ペンによって食を得ると言うことでありましょう。実にユーモラスな発想であります。もしかすると某有名私立大学のペンは剣よりも強しのパロディーかもしれません。というように目的達成の為に生きる知恵と力があるのであります。

運も強かった。特高警察から幸徳秋水と同様に狙われていたのが堺利彦、大逆事件の時に連座しなかったのは、東京拘置所に彼自身が赤旗事件で2年半とらわれていたので助かったのです。

彼は実にラッキーな人であります。

この他彼の特徴的な出来事をいくつか。

社会主義者で投獄された第一号です。女性解放運動に取り組んだフェミニストでした。海外文学の紹介者で翻訳の名手でした。言文一致体の推進者でした。森鷗外に短篇小说を認められた平易明快巧妙な文章の達人でした。などなど。

私の中では社会主義者は融通の利かないチョット危険な香りのする直線的な正義感者でありましたが、堺利彦は人間味豊かな素晴らしい人でありました。

社会主義者というだけで思想的に受け入れられない方もいらっしゃるかもしれませんが、でも今、日本がそして世界が直面している新型コロナウイルス問題、どんな収まり方がなされるのか皆目見当が付きません。その中で大事な事は仲間達と知恵を絞ってどんな局面にも立ち向かっていく勇気が必要だと思うのです。

この時期だからこそ、生徒諸君にも彼から学んで欲しいと思います。

合掌

1. 樹徳教育の目指すところ

創立の理念は仏教を基にした人間教育である。「自主独立」、自分の足で自分の人生を切り拓いていくことのできる人材の育成である。自己を見つめ、「私」へと続いてきた命の尊厳、今を生かす他力の存在、この不思議に感謝し、この喜びを体感する。大いなる他力をいただく我は、他のために生きる。これは世の摂理、バランスであり、そこに私の与えられた使命がある。

学校生活の中で祈る。この心を行動に！ あらゆるものに感謝する。これを行動に！ 喜ぶ。この喜びを他のための行動に！ 心のひだを柔軟にさせ感動の多い学校生活を！「心即行」の実践者を育成したい。行いは心を成長させるものである。

人はいかにすぐれた師に出会い、よき教えに接したとしても、自分を律するものは自分以外にはない。自律心なきものは自主独立の人間とは言えないのである。心を錬磨し、心をしっかり育てていく教育を実践していきたい。

- (1) あいさつを大切にする学校
- (2) 掃除を大切にする学校
- (3) 姿勢を大切にする学校
- (4) 言葉を大切にする学校
- (5) 動と静とが交代脈動する学校



花まつりの花御堂

2. 教育・指導目標

教育方針の理解を徹底し、特に次の事項に重点をおいて指導する。

- (1) 出席率の向上
- (2) 挨拶の励行
- (3) 学力の向上
- (4) 各種検定合格率の向上
- (5) 運動部の強化



花まつりの様子

3. 生徒への重点指導事項

挨拶の励行…明るく元気に

- (1) おはようございます
- (2) こんにちは
- (3) ありがとうございます
- (4) おかげさまで
- (5) すみません
- (6) さようなら

清掃…美しい校舎・きれいな教室・花のある生活
朝・始業前…手塩にかけて。
夕・就業時…感謝をこめて。



平成31年度 入学式

4. 学校の沿革

学校法人明照学園樹徳高等学校は、大正3年（1914年）桐生市本町6丁目田中山浄運寺住職野口周善先生により創立された裁縫伝習所を母体とし、同年10月樹徳裁縫女学校として正式に認可を得、以来輝かしい隆盛と充実の歴史を培ってきた。

現在、普通科最難関大学進学コース、同特別大学進学コース、同大学進学コース、同総合コースを設置している。また、平成29年度入学生から男女共学とし、新たなスタートを切ることになった。

一方、広沢町に付属樹徳幼稚園を併設し、さらに平成13年度には、中高一貫教育を実践するため隣接の稲荷町に樹徳中学校を開校。

この学園に学ぶ者約1,200名、卒業生は約3万人以上を数え、地域社会への貢献も少なくないと自負するとともに、校名の語る高い良識と明照の智慧による力強い個性的な生活を目指し、典雅な明るさをもって、質実剛健の輝かしい伝統の恵みの中で、たくましい努力を続けている。

（学校要覧より抜粋）

令和2年度大学入試合格者数

国立大学	23 名
東北大学	1 名
名古屋大学	1 名
お茶の水女子大学	2 名
金沢大学	1 名
東京海洋大学	1 名
岐阜大学	1 名
富山大学	2 名
新潟大学	2 名
岩手大学	1 名
群馬大学	8 名
弘前大学	2 名
秋田大学	1 名

公立大学	7 名
高崎経済大学	3 名
群馬県立女子大学	1 名
前橋工科大学	2 名
諏訪東京理科大学	1 名

準大学	3 名
防衛大学校	3 名

早慶上理	6 名
早稲田大学	3 名
慶應義塾大学	1 名
東京理科大学	2 名

私立大学（医・医）	1 名
埼玉医科大学（医・医）	1 名

その他の私立大学	320 名
立教大学	4 名
青山学院大学	2 名
明治大学	2 名
中央大学	6 名
学習院大学	3 名
國學院大學	1 名
津田塾大学	1 名
成蹊大学	1 名
成城大学	1 名
立命館大学	5 名
明治学院大学	1 名
京都薬科大学（薬・薬）	1 名
駒澤大学	4 名
専修大学	5 名
東洋大学	7 名
酪農学園大学（獣医・獣医）	1 名
東京電機大学	2 名
東京経済大学	2 名
神戸薬科大学（薬・薬）	1 名
芝浦工業大学	1 名
日本大学	17 名
大東文化大学	5 名
東海大学	9 名
立正大学	7 名
他多数	

（数字はすべて3月24日現在 現役・既卒含む）

職員紹介

令和二年度、新たに着任された先生方です。

（本校）

櫻井 捷天（さくらい しょうた）[数学]

橋本 夢津実（はしもと むつみ）[国語]

椎名 美咲（しいな みさき）[英語]

田村 京介（たむら きょうすけ）[英語]

（一貫校）

小川 楽舞（おがわ らぶ）[英語]

諸田 剛（もろた たけし）[体育]

金井 きみゑ（かない きみえ）[カウンセラー]

宮地 実樹（みやち みき）[事務]

これからよろしくお願いします。

一貫校 中学校 だより

◆20期生を迎えて

生徒一人ひとりが輝ける学校に

新入生35名を迎え、樹徳中学校の令和2年度の教育活動が始まりました。

開校20年目のスタートです。今年度も、本校に学ぶ生徒一人ひとりの成長と幸せを願って、教職員一同、熱意、誠意、創意を持ち、心のこもった教育活動を進めていきたいと思っています。

昨年度も、6年生と大学入試の面接練習を通じてお話をする機会がありました。その折、ある女子生徒が、「6年間の思い出？ 何かなあ？・・・。たくさんの人に支えられて成長できた、本当に充実した6年間で送れたこと、それが私の一番の思い出かな。たくさんの友達と出会い、いろいろな

ことを丁寧に教え、導いてくださったたくさんの先生方と出会えたことに感謝しています。」という話をしていました。教師冥利に尽きる言葉ではありますが、私たち教職員にとっては、教育者としての責任を痛感する言葉でもありました。私たちには、日常生活の中で、「人・もの・こと」とのたくさんの出会いがあります。その中でも、人との出会いは、人格を形成していくうえで特に大切なものであることを改めて考えさせられます。

樹徳中に学ぶ生徒の一人ひとは、未来への可能性を秘めた輝けるダイヤモンドの原石です。

生徒一人ひとりが、お互いに切磋琢磨し、磨き合い、個性豊かなダイヤモンドとして輝けるよう、保護者の皆様としっかり連携を図り、実り多い1年にしていきたいと思っています。保護者の皆様には、今年度もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(校長 澁谷和郎)

◆後輩につなげよう

～イギリス語学研修報告会

2019年11月にイギリスに語学研修に行ってきた3年生が、その報告を1、2年生に行いました。イギリスでのホームステイや現地校との交流などを再現したり、実際にイギリスに行き体験して分かったことや考えたことなどを今度行く後輩に伝えるように発表しました。1、2年生は興味深そうに発表を聞いていました。3年生は報告会を終え、体験を伝えることの楽しさや難しさを感じ、とても充実した表情をしていました。



真剣に話を聞く
1、2年生たち

現地校での交流を再現

◆福よ来い！ ～節分会

2月3日、大善寺にて節分会を行いました。以下は生徒の作文です。

「今日の節分会のおかしまきでは、上の段でした。みかんが人に当たらないか、心配でした。おかしは端にいる一般のお客さんに渡しました。すごく楽しかったです。中国の雑伎団の演技はとても迫力がありました。一番すごいと思ったのは一輪車に乗ったまま、頭にお皿をどんどん載せていく芸でした。バランス力が非常にあるんだなと感動しました。おかしやノートがもらえてうれしかったです。本堂の中は大変きれいでした。おかしの詰め合わせのような袋の中には樹徳幼稚園の

園児が描いた絵が入っていて、その絵はおかしをまいている姿なのかなと思います。一年生しか行くことができない節分会を充分に楽しめたと思います。それからおかしは家族のみんなと一緒に分けて食べたいと思いました。今日一日楽しかったです。」(新藤苺香)

「(略) 雑伎団の方々はたくさんのことをやってくれました。面白いものやすごいものなど、見ていて飽きないものばかりでした。仮面が変わるものは仕組みが分からなかったし、一輪車でのパフォーマンスは真似できないようなものでした。もし機会があれば自分でも見に行きたいです。そして栃木県民の僕はぐんまちゃんの着ぐるみを初めて見ました。楽しく面白い大善寺での出来事は時間を戻してもう一度体験したいほどです。」(福地一翔)

◆志を誓う ～立志式

2月6日2年生が立志式を迎えました。生徒は立志式を迎えるにあたり、将来の目標を定めて、それを作文に書きました。立志式当日は代表の三羽凜果さんと山田凌平君が作文を読み、それぞれの志を誓いました。2部では上杉隼人さんから『21世紀に必要な英語力』と題した講演がありました。



た。立志式を通して生徒たちは大人になるに向けて決意を新たにしていました。

これからの彼らの活躍が楽しみです。

幼稚園だより

◆「入園・進級おめでとう！」

若葉が美しく萌え始めた春の暖かな陽ざしのもと、令和2年度の新学期がスタートしました。4月9日（木）には、新入園児13名を迎えて入園式が開催されました。新型コロナウイルスの感染防止の観点から、出席者の制限や換気・マスクの着用等の対策を十分に行い、いつもより縮小して実施しましたが、子どもたちは元気に参加し、樹徳幼稚園において集団生活の第一歩を踏み出しました。

また、園内に響くにぎやかな子どもたちの声につつまれて、喜び、うれしさ、期待、そしていくらかの不安、緊張も胸いっぱいにつつまれてお兄さん・お姉さんになって進級した子どもたち。3月までとは少し違って見えます。日頃の遊びや行事を通して、たくさんのことを経験して学んでいけるよう、職員一同しっかり支援していききたいと思います。

『早く咲く花もあれば、ゆっくり咲く花もある。咲く花の季節はおのこの違ふ。しかし、どの花も美しい。花が咲くまでの堅いつぼみの時間の意味を、春の訪れの中でもう一度、考えたい。』この詩のように、子どもたち一人ひとりの個性を大切に、この1年間先生方と力を合わせて頑張っていけます。そして、子どもたちの成長を保護者の皆様とともに見守り、子どもにとっても、教職員にとっても、保護者にとっても、皆が楽しく過ごせる1年間にしたいと思っています。今年度も、ご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。



お茶のお稽古（最終回）

◆「新型コロナウイルス感染拡大への警戒と対応」

新型コロナウイルスの感染対策、対応に追われた2・3月。2月27日には、国より休校措置の要請があり、3月には小・中・高等学校・特別支援学校等休校となりました。保育所・幼稚園、認定こども園においては、感染予防に留意した上で、原則として開所するよう国からの要請（お願い）があり、本園では、3月の行事を中止するなど、「卒園式」も時間の短縮や参加人数を縮小しての開催となりました。しかし、群馬県でも隣の太田市をはじめ、多くの感染者が確認され、大泉町ではクラスター（感染者集団）が発生したと断定されるなど、桐生でも感染防止対策の徹底等、引き続き警戒の継続と慎重な対応が必要となっております。新年度に入っても、日常を取り戻すにはまだまだ時間がかかりそうです。そして、未だに感染者は日本全国で拡大し続け、世界でも欧州・アメリカ等

において、爆発的な感染の拡大が報じられるなど、感染拡大を抑えるための対策や、一人ひとりが感染を防ぐ行動を徹底していく必要があります。

新学期からの学校再開に向けた考え方などを盛り込んだ指針が、文部科学省より示されましたが、園でも感染防止策（検温・教室の換気・手洗い・咳エチケット・アルコール消毒等）を徹底し、子どもの安全・安心を第一に、新学期（4・5月）を子どもとともに楽しく過ごせるように努めていきたいと思います。



6月の収穫が楽しみです（ジャガイモ植え）

◆「第67回卒園式を終えて」

温かい春の日差しのもと3月19日（木）に、令和元年度卒園式が開催され、17名が小学校へと巣立っていきました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で感染防止への対応策として、集会の自粛や中止・縮小等の要請を受け、参加者の制限や時間の短縮を図っての実施となりました。当日は、保護者・教職員によって卒園児の門出にふさわしい会場（飾り付け）が設営され、立派な卒園式を開催することができました。幼稚園生活で身につけた積み重ねの力の証（あかし）、修了証書を一人ひとりに手渡すことができたことにほっとしました。園生活で身につけた①明るく元気に生活する力（健康という力）②仲良く遊ぶ力（心の力）③よく考えてやり抜く力（できる・わかる力）、この三つの力を大切に、小学校での活躍を大いに期待しております。

園長 瀬谷 茂



第67回卒園式（立派でした）

令和2・3年度一入園児募集ー

◎2歳・満3歳・3歳児の入園を受け付けています。
申込みは電話、または園までお越しください。
（転入園可）

◎園見学はいつでもできます。お出かけください。

※連絡・問合せ

住所：桐生市広沢町三丁目4475番地

☎：0277-53-5571

ホームページ <http://www.jutoku.ed.jp/>

4月（正見）の行事予定 3月30日時点

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	水	新年度方針・校務分掌発表 新採教員研修① 学用品引き渡し準備		職員会議 安全点検 預かり保育
2	木	新入生学用品引き渡し10:00～ 時間割作成 学年担任会		預かり保育
3	金	職員健康診断 新採教員研修② 教科担任会・校務分掌会議 年間授業計画・クラス運営計画作成 桐生地区校長会		職員健康診断① 預かり保育
4	土			開園
5	日			
6	月	授業料納入日(2・3年) 1年生オリエンテーション①9:00		職員研修① 新学期準備 預かり保育
7	火	法然上人誕生会 1年生宿泊研修下見		新学期準備 預かり保育
8	水	始業式 大掃除 一斉指導 入学式会場作成 釈尊降誕会	始業式 大掃除	始業式 給食開始 平常保育(新入園児除く)
9	木	入学式 1年生クラス編成	入学式(係生徒以外自宅学習)	入園式
10	金	1年生オリエンテーション② 部活動紹介 写真撮影(1年) 2・3年生1・2時限HR 自転車通学許可申請日 県校長会		新入園児早帰り
11	土	校内定期点検(停電14:00～17:00)		開園
12	日			
13	月	校内花まつり 全校朝礼 対面式 教科主任会① 県校長会 1年生オリエンテーション③2・3時限 通学方法調査		新入園児早帰り(～16日)
14	火	マイत्री基金拠金日 日私中高連常任理事会	課題確認テスト マイत्री基金拠金日	
15	水	自転車許可証発行 ミニマナーアップ	身体計測	
16	木	身体計測 検尿①	花まつり	
17	金	春休み課題作文学年審査 内科検診① 検尿(①未提出者) 県総体申込締切 小中高協会幹事監査		新入園児平常保育開始(給食開始) 園外保育(吾妻公園) 母の会総会
18	土	職員出勤日 1年生・2年生保護者会		開園
19	日			
20	月	LHR 制服アフターサービス 基礎力診断テスト(総合コース)・スタディサポート(進学コース)	三越アフターサービス	ひよこ・すみれ組個人面談(～24日)
21	火	内科検診②		保育料等納入日 読み聞かせ
22	水			市事務連絡会議
23	木			母の会役員顔合わせ 群私幼理事会
24	金	歯科検診①	中学後援会総会・保護者会	群馬県教育・保育行政説明会 歓送迎会
25	土	3年生河合塾全統共通テスト模試(～28日)	創立記念日(大正3年) 創立106年	開園
26	日			
27	月	朝礼 学年主任会①	3年租税教室	もも組個人面談(～5月1日)
28	火	胸部X線・心臓検診(1年)		
29	水	昭和の日		
30	木	1年生授業料納入日 出欠統計 後援会総会準備会		内科検診(みらいこどもクリニック)

※1日は高等学校・一貫校・幼稚園の安全点検日です

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

4・5月の行事予定

(1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」

主催 野村ナナ子さん

5/7(木)、5/21(木)

(2) 七草ゼミナール塾

主催 上野文雄さん 5/14(木)

(3) 樹妙会役員会 4/15(木)

5月（正思）の行事予定 3月30日時点

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	金	学校要覧・基本調査作成基準日 生徒募集要項作成開始 職員健康診断②		もも組個人面談
2	土			開園
3	日	憲法記念日		
4	月	みどりの日		
5	火	こどもの日		
6	水	振替休日	振替休日	振替休日
7	木	授業料・校外学習代金納入日		体育(全) 文字(年中)
8	金	マイトリー基金拠金日	マイトリー基金拠金日	花祭り(大善寺) 保育料等納入日
9	土			開園
10	日			
11	月	LHR(心理適性検査) 学年主任会② 後援会総会・授業参観		さくら組個人面談(～15日) リズム(全)
12	火	内科検診③ 県校長会	1年宿泊オリエンテーション(～13日)	読み聞かせ
13	水	歯科検診② 中高協会総会(～14日) 県高P連本部役員会(生涯学習センター)		英語(全) 文字(年長)
14	木	歯科検診③ 県総体壮行会		体育(全) 文字(年中)
15	金	県高校総合体育大会(～17日)		群私幼定時総会 母の会歓送迎会
16	土	県高校総体陸上競技(～19日) 総体少林寺拳法競技大会(明照体育館)	学校見学会①	開園
17	日			
18	月	LHR 教科主任会②		たけ組個人面談(～22日) リズム(全)
19	火	日私中高連常任理事会・評議員会	早朝自主学習(～27日)	虫歯予防教室(年長) 市事務連絡会議
20	水	全国校長協会総会(～21日 大宮)		お茶のお稽古(年中・年長) 英語(全) 文字(年長)
21	木	緑蔭祭会場作成		体育(全) 文字(年中)
22	金	第37回緑蔭祭 検尿②	第37回緑蔭祭	お誕生会(4・5月生)
23	土	樹妙会総会 二代校長ご命日(42回忌) 1・2年ベネッセ診断(特別課受講者) 3年ベネッセ大学入学共通テスト模試(～29日)		開園
24	日			
25	月	朝礼 運営委員会①		リズム(全)
26	火	中間試験(～28日) 第1回法人役員会 進学クラス保護者会	中間試験(～28日)	読み聞かせ ポール投げ教室(年中・年長) 法人役員会
27	水	後援会執行部会 地区連絡委員会 後援会役員会① 新旧役員懇親会		英語(全) 文字(年長)
28	木	3年生就職ガイダンス① 制服アフターサービス		体育(全) 文字(年中)
29	金	初代校長ご命日(70回忌) 前期教育実習オリエンテーション 内科検診④ 出欠統計 県私学保護者連合会総会(ラシーネ)		
30	土	英検①		開園
31	日			

※1日は高等学校・一貫校・幼稚園の安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく